

1. 件名 : 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災訓練（総合訓練）における課題対応について

2. 日時 : 令和3年4月14日（水）10:00～11:40

3. 場所 : 福井県敦賀原子力防災センター

4. 出席者 :

原子力規制庁 敦賀原子力規制事務所

鈴木原子力防災専門官

諏訪上席放射線防災専門官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証部門 敦賀廃止措置実証本部 安全・品質保証室

技術主幹 1名

高速増殖原型炉もんじゅ 安全・品質保証部

技術主幹他 2名

5. 要旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構から、令和3年2月9日（火）に実施した高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災訓練（総合訓練）の課題対応について説明があった。

原子力規制庁から特に次の事項を助言した。

- ・ 組織としての原子力災害対応、防災訓練等に対する認識がどうであったのかといった本質的、根本的な原因についての分析が必要である。
- ・ 昨年度の要素訓練等について不十分であった内容を具体的に分析し、その結果を今年度の要素訓練等に反映することが必要である。
- ・ 訓練以外の原因については、それに応ずる対策が必要である。
- ・ 緊対所が狭いため、WBの設置枚数や新型コロナウイルス感染対策を考慮した態勢に制約を受けること等については、既存の枠組みに捕らわれることない発想を含めての試行錯誤も必要になる。
- ・ 「問題点」と「課題」を整理して記載することが必要である。

6. その他

配付資料 :

資料1 令和2年度 高速増殖原型炉もんじゅ総合防災訓練における課題対応について